

8月6日 広島市女職員生徒原爆死没者慰霊式

今年も、本校の前身である広島市立第一高等女学校の職員生徒原爆死没者慰霊式（市女慰霊式）が行われました。70年前の8月6日、市女の生徒や教職員は爆心地近くの材木町で建物疎開の作業中に被爆し、職員10名、生徒666名の計676名の方々が犠牲となりました。舟入・市女同窓会では、犠牲になられた方の霊を慰めるため、毎年、ご遺族の方をはじめ、市女・舟入の同窓生、本校の有志生徒（生徒会執行部、放送部、吹奏楽部、音楽部）などの多くの方の参列を得ています。

ご高齢となられた市女卒業生の方が、花束を手向けながら深々と頭を下げ拝んでおられる姿、市女犠牲者のお名前が刻まれた銘板に指をかけ慰めておられる姿を拝見すると、胸にこみ上げるものを感じました。

お暑い中、足をお運びいただいた参列者の皆様に厚く御礼申し上げます。

式典の様子



同窓会長、慰霊の言葉



舟入校長、慰霊の言葉



教育長、慰霊の言葉（代読）



生徒会による折り鶴献納（本校生徒全員が折りました）



献花（遺族代表）



献花（双葉会理事長）



献花（生徒代表）



手記の朗読（放送部）



校歌斉唱。市女校歌、舟入校歌の順に歌いました。



一般参列者による献花



銘板のお名前を確かめておられました。



本校の有志生徒たち

生徒会執行部。お茶汲み、献花などをしました。



放送部。司会、朗読などをしました。



吹奏楽部。演奏をしました。



音楽部。校歌斉唱をしました。

